

「院外心停止事例における近隣 AED 搬送使用の実態と社会復帰事例の検討」に関する研究について

【研究概要】

本研究は、堺市消防局管内において発生した院外心停止事例のうち、近隣施設等に設置された AED（自動体外式除細動器）を設置施設外へ搬送して使用し、後遺症を残さず社会復帰した事例を対象として、救急活動記録、指令記録、AED 使用状況等を後方視的に調査・分析する研究です。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、

- 1) 研究への情報利用を希望されない場合
- 2) 研究への協力を希望されない場合

は、末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、本研究に関する情報は、新潟医療福祉大学ホームページに掲載するとともに、研究対象データの保有機関である堺市消防局ホームページにおいても、研究対象者への周知を目的とした案内を行います。

【研究課題】

院外心停止事例における近隣 AED 搬送使用の実態と社会復帰事例の検討
(倫理審査承認番号：19912-260623)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関：新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 救急救命学分野

研究責任者：堀 英治

担当業務：消防機関との連絡調整、データ収集、解析、論文作成

情報の管理責任は新潟医療福祉大学（学長：西澤 正豊）です。

【研究協力機関】

堺市消防局

【研究期間】

2026 年 6 月 30 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【対象となる方】

令和 4 年 1 月 1 日から令和 6 年 12 月 31 日までの間に、堺市消防局管内で発生した院外心停止事例のうち、近隣施設等に設置された AED を設置施設外へ搬送して使用し、後遺症を残さず社会復帰した事例の方

【研究の目的】

院外心停止事例における近隣 AED 搬送使用の実態を調査し、AED 搬送距離、使用までの時間、消防指令管制員の関与状況、救急隊到着前にその場に居合わせた家族、同僚、通行人など（バイスタン

ダー) による対応内容等を分析することで、地域における AED 活用体制の実態と、社会復帰に至った事例の特徴を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

堺市消防局が保有する救急活動記録、ウツタインデータ（心停止患者の発生状況、心肺蘇生や AED 使用状況、搬送後の経過などを国際的な基準に基づいて記録した救急活動データ）、指令記録等の既存情報を用いて後方視的に調査・分析を行います。

本研究は、新潟医療福祉大学倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。新たに対象者へ検査や治療等を行うことはなく、既存情報のみを用いる研究です。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱います。

研究に使用する情報からは、氏名、生年月日、住所等の個人を特定できる情報を削除したうえで使用します。また、研究成果公表時には、個人および事例が特定されないよう十分配慮します。

収集した電子データは、新潟医療福祉大学竹井研究室内および堺市高石消防署署長室内の適切に管理された環境において、パスワード保護された電子媒体又は管理端末内で保管し、研究指導教員および研究責任者のみがアクセス可能とします。

この研究のためにご自身（あるいはご家族）の情報を提供してほしくない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外いたします。なお、研究への協力を希望されない場合でも、不利益が生じることはありません。

研究成果は、個人情報 that 明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

収集したデータは、研究結果の最終公表から 10 年間、新潟医療福祉大学竹井研究室内において適切に保管し、保管期間終了後は復元できない方法で消去します。

【利益相反】

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

また、本研究に関する謝金はありません。

2026 年 7 月 7 日

【問い合わせ先】

研究責任者：堀 英治

〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町 1398 番地

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

保健学専攻 救急救命学分野

TEL:090-9860-7074

E-mail: hem25001@nuhw.ac.jp